

## Q&A

Q.勉強を教えてもらえるのですか？

A.学習の補充や、在籍学級での学習の遅れを取り戻すための指導は行いません。

Q.特別支援教室の指導のために抜けた授業の内容はどうなりますか？

A.特別支援教室は、週数時間程度、授業を抜けて指導を受けます。抜けた時間の授業の内容に関しては、遅れが出ないように配慮しています。詳細は学校に確認してください。

Q.一度通うと卒業まで通うのですか？

A.在籍学級での適応が改善すれば、その時点で退室となります。困っていることに対処できるようになり、在籍学級で過ごしやすくなるのが目的です。そのため、在籍学級と特別支援教室、保護者で定期的に振り返りを行い、特別支援教室での指導が必要か、指導内容が児童にあってるか、確認していきます。

### 拠点校

平成小学校・すずかけ教室グループ

台東育英・蔵前・松葉・田原小学校

谷中小学校・さくら教室グループ

根岸・忍岡・黒門小学校

大正小学校・いたどり教室グループ

上野・金曾木・千束・金竜小学校

石浜小学校・あおば教室グループ

東泉・浅草・東浅草・富士小学校



台東区教育委員会

学務課 通級相談担当

(生涯学習センター5階)

03(5246)5838

# 台東区小学校 特別支援教室



台東区教育委員会

## 特別支援教室とは

知的な遅れのない発達障害、情緒障害の子どもたちのサポートを目的とし、それぞれに合った学び方を指導する教室です。

## こんなお子さんのための教室です

### コミュニケーションが苦手

相手の気持ちがわからない。

相手の反応を気にせず、一方的に関わろうとする。

場の空気を読んだり、状況を察知して動くことが苦手。

### 衝動的に動いてしまう

周囲の刺激に反応して、すぐに動いて行ってしまう。

カッとなるとすぐ手が出る。

相手の話を最後まで聞かずに喋ってしまう。

### 運動や体の動きが器用にできない

ドッジボールや大なわ等の集団遊びがうまくできない。

楽器の演奏や、道具の扱いが上手くできない。

### 気持ちと行動の切り替えが難しい

予定の変更を嫌がる。

嫌な気持ちを引きずりやすい。

好きな活動を切り上げにくい。

### 不注意で気が散りやすい

先生の指示などに集中できない。

うっかりミスや忘れ物が多い。

物事をやり遂げられない。

### 勉強に得意不得意があり、力を発揮しにくい

学習全般にはついていけても、音読、漢字の書き取り、計算などに、特有の学びにくさがある。

## 困りごとに応じた学習をします

ひとりひとりの困りごとに応じて、個別学習を中心にグループ学習も行います。

### コミュニケーションの学習

「上手な言葉でのやりとり」や「相手の気持ちを考える」学習をします。

### 作業に集中して取り組めるようになる手立ての学習

どのような環境で、どのようなサポートがあると取り組みやすいのかを把握し、学びやすい方法を見つけます。

### 読み書きの困難さを軽減・克服する手立ての学習

各々の苦手さを丁寧に把握し、適した教材、教具を選び、学びやすい方法を見つけます。

## 特別支援教室の先生が指導します

- ▶ 特別支援教室は在籍する学校内に設置されています。
- ▶ 地域の拠点校から特別支援教室の先生(巡回指導教員)が各小学校を訪問し、決められた時間に「特別支援教室」で指導します。
- ▶ 巡回指導教員は、クラス担任と連携しながら指導を進めます。また、授業中の児童の様子を見学し、クラス担任にアドバイスすることもあります。

## 在籍学級とのつながりを大切にします

特別支援教室は児童を指導するだけでなく、在籍学級で継続可能な支援方法を考えていきます。在籍学級での適応改善に向けて、担任や管理職、児童・保護者も含め話し合っていきます。

## 申し込みの手続き

まずはクラス担任、特別支援教育コーディネーターにご相談ください。校内で検討した後、保護者とよく相談した上で、教育委員会に申請することになります。

児童と保護者、担任等が話し合います

どのような支援が必要か  
校内委員会で検討します

- ▶ 普段の様子や知能検査の結果を参考に、困りごとを確認します。その上で、特別支援教室への入室が児童の成長に繋がるか検討します。

※入室申請には知能検査(WISC)の検査結果が必要です

校内委員会で、入室申請が適当と判断された場合、児童や保護者と話し合います

- ▶ 特別支援教室での面談や体験を通して、自分の困り事を確認したり、入室を希望するかを決めます。

児童・保護者の同意が得られたら、  
学校から教育委員会へ入室申請をします

保護者と教育委員会の相談員が面談します

教育委員会で、入室の必要性や  
適性について検討し、判定します

- ▶ 入室が適当でないと判定される場合もあります(登校状況が不安定な場合等)。

指導の開始

他の適切な支援